

特集 そうだったんだ！議員の仕事



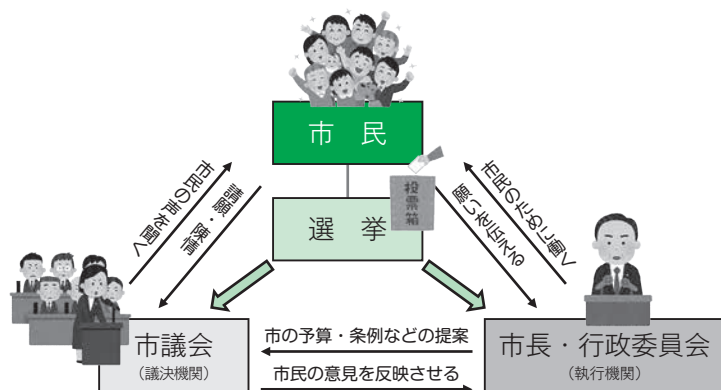
景気の悪化や物価高騰が続く中、市議会議員は市民生活の不安を少しでも払拭するため、日々活動を続けています。

今回は、市議会議員の役割や議員になるための要件、そして普段どのような活動をしているのかを1期目の議員がご紹介します。

市議会議員の役割とは？

議員は、市民の代表として市民の要望や意見を市政に反映させ、市政の方向を決める重要な役割を担っています。

市議会議員と市長は、それぞれ独立・対等の関係にあり、互いにけん制し、協力し合い、市政発展のために活動しています。



市議会議員にはどうやってなるの？

市議会議員選挙に立候補し、当選する必要があります。

立候補にあたっての主な要件は次の2つで、学歴や職歴は問いません。

- ①25歳以上の日本国民であること
- ②3か月以上、立候補する市に住んでいること

※①、②の要件を満たしていても、公職選挙法や政治資金規正法などの関係法令に定められている被選挙権を失っている場合は立候補はできません。

議員以外の仕事をして大丈夫？

滝川市議会議員15人（定数16人）のうち、12人が農業経営や会社役員、会社員等の仕事に就いており、両立しながら活動することは十分に可能です。近年では、子育て中の主婦や仕事を持つ若者が議員として活躍している自治体もあります。

目で見る滝川市議会議員の現在

◇議員定数は何人？

16人

（現在数は15人。うち、女性議員は2人）

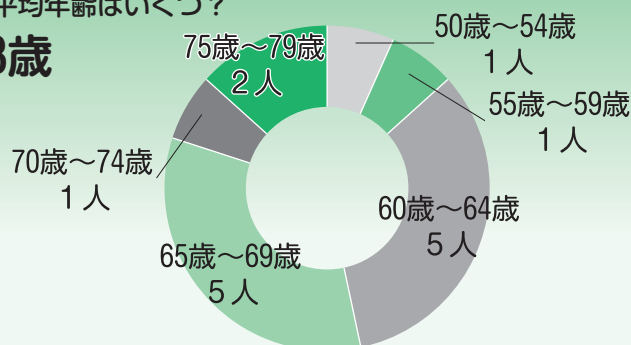
◇議員報酬の金額は？

月額33万円

※ほかに、期末手当や交通費の支給があります。

◇議員の平均年齢はいくつ？

65.3歳



◇全ての議員が行う活動

本会議



▲定例会の一般質問

市民の方の傍聴もあり、議事録が作成され、記録として残るので緊張する場面です。

一般質問にあたっては、取り上げる事項や質問内容など幾度も熟考して臨みます。答弁によっては再質問し論点を深めます。

全議員により構成され、議会の最終的意思を決定する会議。

年4回開催する「定例会」と必要に応じて開催される「臨時会」があります。

委員会

専門的な事柄にわたるので勉強も必要となり、責任の重さを実感します。

しかし、関心の高い分野に関わるので、やりがいがあります。



市政に関するテーマごとに、3つの常任委員会（総務文教・厚生・経済建設）が設置されており、議員は2つの常任委員会に必ず所属しています。また、特定の事柄を審査する特別委員会も必要に応じて設置しています。



▲新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会

◇それぞれの議員活動の一例

市民相談

生活する上での不便さや市政への要望などの相談を受けます。それを自分なりに整理して市政に反映させることが議員活動の醍醐味でもあります。



▲市民の方からご相談を受けています

担当部署との話し合い

日頃から市の施策等について内容を確認し、吟味したうえで、議会での一般質問につなげていきます。



▲必要に応じ、担当部署に市民からいただいた声を届けています

市民参加の取組



▲西高生との座談会



▲短大生との意見交換会

市民の方に市議会を身近に感じていただく機会であり、直にお話を伺う機会でもあるので、委員会や会派、議員個人など様々な形で市民の方と意見交換や交流を活発に行います。

議案についての検討

提起される議案について必要性や市民生活への影響などを調査するために図書館などで関連資料を調べるほか、会派などで議論を重ねます。

疑義があれば担当部署に問い合わせるほか、本会議の場で質問します。

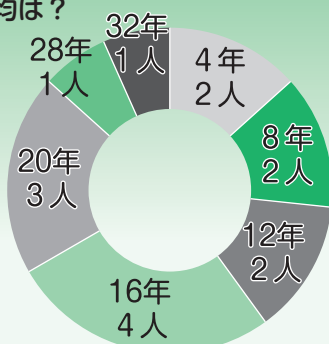


会派とは、2人以上でつくる政策を中心とした同じ理念を持つ議員のグループ。

◀会派での検討の様子

◇議員歴の平均は？

15.4年



現職議員からのメッセージ

市民一人ひとりの生活や思いは違います。その違いに光を当て一つでも多く市政に反映させるために何人もの議員がいて、その一人として私らしい議員活動に取り組まさせていただきます。



全国的に市議会議員のなり手不足が課題となっています。地域の課題を一緒に考え、より住みやすい地域にするためには是非若い人や女性にも立候補していただきたいです。

